



「製図道具 PHOTO EXPERT Ver6.4.1」 追加マニュアル

itex MUTOH

ご注意

- 1.このソフトウェアの著作権は、ムトーアイテックス 株式会社にあります。
- 2.このソフトウェア及びマニュアルの一部あるいは全部を無断で使用、複製することはできません。
- 3.このソフトウェアはコンピュータ 1 台に対し、1 セット必要となります。
- 4.本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 5.本書の内容については万全を期していますが、万一ご不明な点や誤りお気づきの点がございましたら、当社又はお買求めの販売店にご連絡下さいますよう、お願い申し上げます。
- 6.本書を運用した結果につきましては、一切責任を負いかねますのでご了承下さい。

記載されている会社名、製品名は各社の商標及び登録商標です。

はじめに

このたびは、「製図道具 PHOTO EXPERT Ver6.4.1」を御利用いただき、まことにありがとうございます。

本書は「製図道具 PHOTO EXPERT」から「製図道具 PHOTO EXPERT Ver6.4.1」へのバージョンアップに伴い、追加された機能及び削除された機能について記載しています。「製図道具 PHOTO EXPERT」のマニュアルと併せてご利用ください。

目次

1. トレーニングマニュアルの 追加・変更部分 _____	1
1.1 インストール _____	1
アカウントとアクセス権限について _____	1
インストール時のアカウント _____	1
実行時のアカウント _____	1
Windows Vista/7/8 /8.1/10 のセットアップ起動方法 _____	2
セットアッププログラムの実行 _____	3
1.2 外字の登録 _____	8
Windows Vista/7/8/8.1/10 の場合 _____	8
1.3 アンインストール _____	12
製図道具のアンインストール _____	12
2. リファレンスマニュアルの追加・変更部分 _____	15

2.1[バックアップ]コマンド	15
バックアップファイルの保存先変更	15
バックアップ保存先の設定手順	15
※設定バックアップの保存が反映されない場合の対処法	17

3.リファレンス・トレーニング両マニュアルの削除項目_ 20

1. トレーニングマニュアルの追加・変更部分

1.1 インストール

(本章は製図道具 PHOTO EXPERT トレーニングマニュアルの Section1-1「インストール」に該当)

当ページでは Vista/7/8/8.1/10 以降のインストールについて説明します。

既に製図道具シリーズをお使いの方は既存の製図道具をアンインストールして下さい。尚、アンインストールする際は必ず図面ファイルのバックアップを行ってください。

それでは、製図道具のソフトウェアをコンピュータにインストールします。

アカウントとアクセス権限について

製図道具 PHOTO EXPERT を Vista、7、8/8.1/10 でご利用される場合のユーザーアカウントとアクセス制限について説明します。

インストール時のアカウント

インストール時、Administrator (システム管理者) 以上の権限を持ったユーザーアカウントでログインの上インストールしてください。

実行時のアカウント

実行時も環境設定ファイル、図面ファイルの保存の関係から「Administrator」(システム管理者) 権限を持ったユーザーアカウントで実行してください。

「Users(制限ユーザー)」権限ユーザーアカウントでの実行はファイル保存時に不都合が生じる可能性があるため、実行できません。

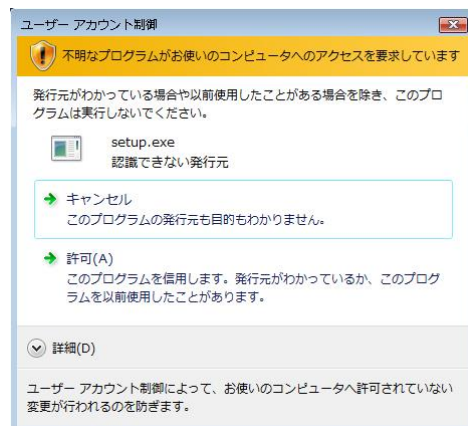
Windows Vista/7/8 /8.1/10のセットアップ

起動方法

(製図道具 PHOTO EXPERT トレーニングマニュアルの
Section1-1「インストール」への追加事項)

セットアップCD-ROMをセットするとセットアッププログラムが
自動的に起動します。

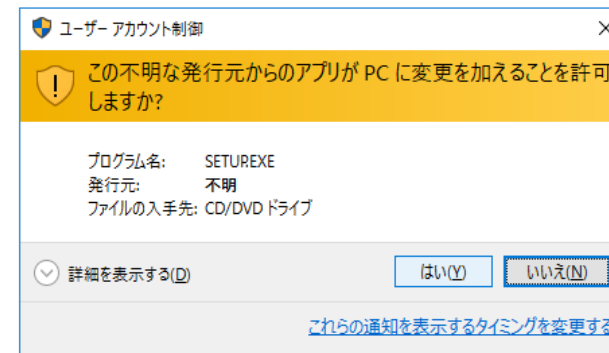
「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが開きます。



[許可]をクリックしてください。セットアップを開始します。

※Windows10 の場合は

「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスが開きます。



「はい」をクリックして下さい。セットアップを開始します。

セットアッププログラムの実行

(製図道具 PHOTO EXPERT トレーニングマニュアルの P5「セットアッププログラムの実行」に該当)

画面に下記のウィンドウが表示され、セットアップの準備を開始します。



セットアップ画面が表示されます。各ウィンドウのメッセージに従って「次へ」ボタンを押します。



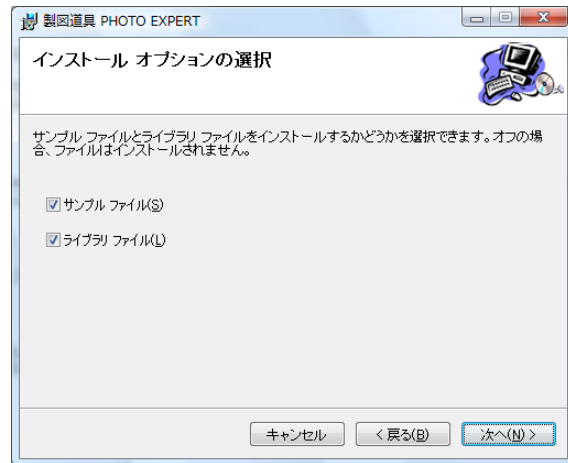
製品パッケージにある「SLP」で始まる 21 桁の英数字を[シリアル番号]の欄に半角英数字で入力してください。このシリアル番号を入力しなければ[次へ]進めません。



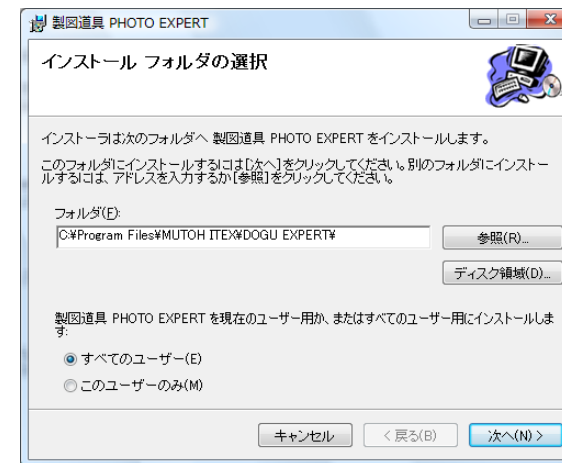
次にインストールオプションを選択します。

付属のサンプルファイルや、部品・記号データを一緒にインストールするかを選択します。

必要なファイルをチェックして[次へ]を押してください。



インストール先のフォルダを指定します。



※64bit 版の場合

フォルダ名が(C:\ProgramFiles(x86)\MUTOH ITEX\)となります。

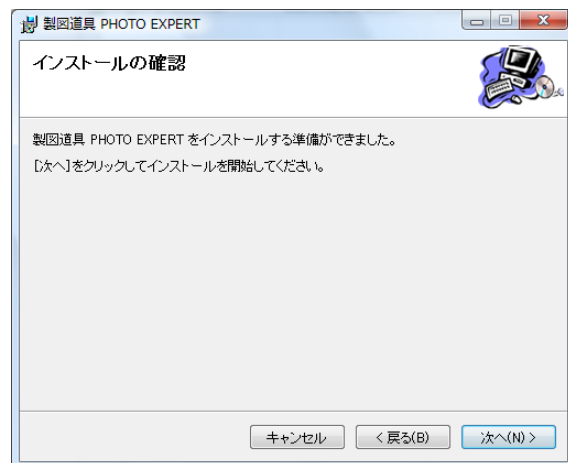
インストール先を変更する場合は[参照]ボタンを押し変更します。



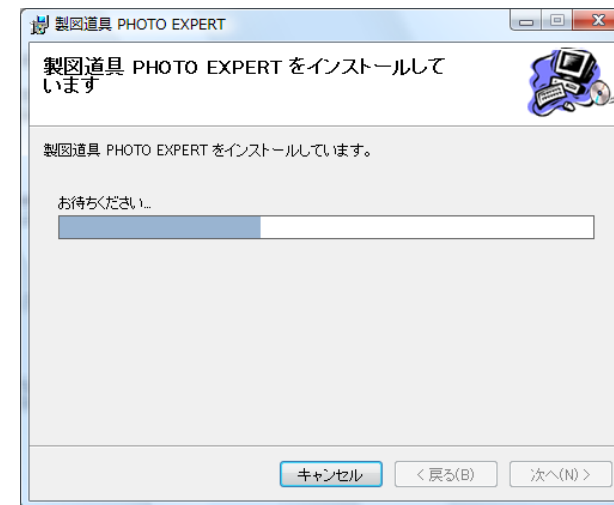
コンピュータ内のディスク容量を確認するには、[ディスク領域]ボタンを押します。



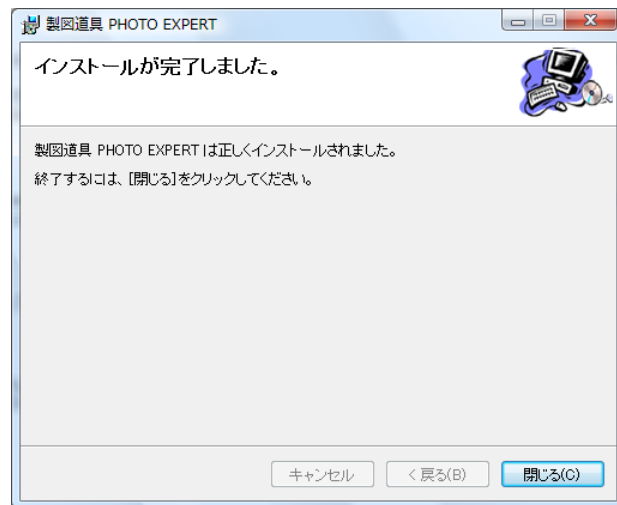
インストールするフォルダ名は後の「外字登録」で使用するので、メモしておきます。上記の場合「C:¥Program Files¥MUTOH ITEX¥DOGU EXPERT※」です。



次へを押すと、インストールが開始されます。




インストールが正常に終了すると次のウィンドウが表示されます。

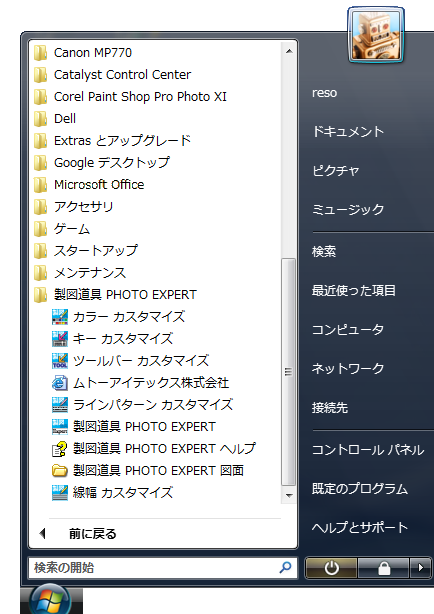


ハードウェアによっては再起動のメッセージが表示される場合があります、その場合は再起動してください。

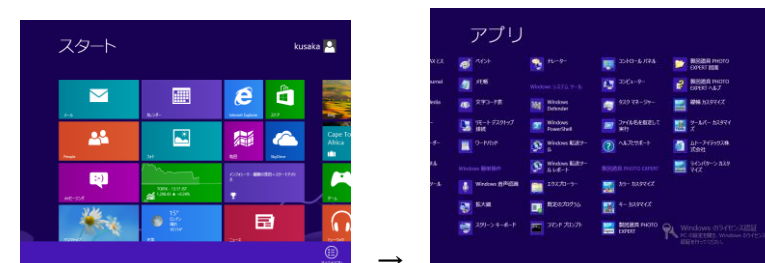
全てのコピーが終了し、製図道具のセットアップが完了しました。

デスクトップ上に製図道具アイコン  が作成されます。

[スタート]メニューの[プログラム]フォルダ内に、「製図道具 PHOTO EXPERT」フォルダが作成されているのを確認してください。



Windows8/8.1 の場合は、[スタート画面]から「全てのアプリ」を表示し、「アプリ」の一覧に「製図道具 PHOTO EXPERT」のアイコンが作成されているのを確認してください。



Windows10 の場合は、[スタートメニュー]から「全てのアプリ」を表示し、「アプリ」の一覧に「製図道具 PHOTO EXPERT」のアイコンが作成されているのを確認してください。



これでインストールは完了です。

ご注意：

インストールした管理者権限以外のユーザーでログインして、初めて製図道具を起動した際に、製図道具インストールファイルを要求される場合があります。

すべてのユーザーでログインし、製図道具の起動を行うまでは、本製品の CD-ROM が必要となる場合があります。

また、管理者権限以外のユーザーでログインして起動する場合、動作に不具合が生じる場合がありますので、本ソフトウェアの起動はインストールを行った[ユーザー]フォルダ配下で行う必要があります。

1.2 外字の登録

(本章は製図道具 PHOTO EXPERT トレーニングマニュアルの
Section1-2「外字の登録」に該当)

次に製図道具で使用する外字を登録します。この登録を行わないと、
寸法交差等の記入時の文字が化けてしまいますので、必ず行ってく
ださい。

Windows Vista/7/8/8.1/10の場合

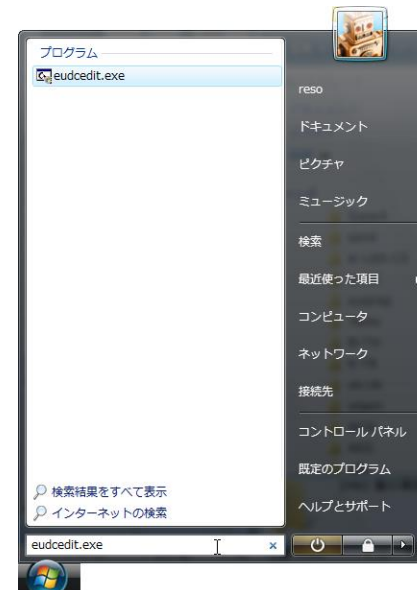
(製図道具 PHOTO EXPERT トレーニングマニュアルの
Section1-2「外字の登録」への追加事項)

製図道具で使用する場合の外字登録方法を説明します。

WindowsVista/7/8/8.1/10 では、スタートメニューに「外字エ
ディタ」が登録されていませんので、コンピュータ上から検索して
実行する必要があります。

1. [スタートメニュー]-[検索]ボックスから、外字エディタを検索
します。

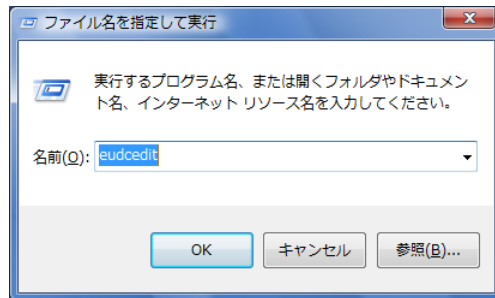
「検索の開始」エリアへ「eudcedit」と入力すると、プログ
ラムエリアに検索された外字エディタプログラムが表示され
ますので、クリックします。



※ Windows8 の場合は、画面右に表示される検索メニューを選択
してください。

※ Windows10 の場合は、画面左下に表示される[Web と
Windows を検索]を選択してください。
また、以下の方法でも起動が可能です。

[スタートメニュー]-[プログラム]-[アクセサリ]-[ファイル名を指定して実行] を選択します。



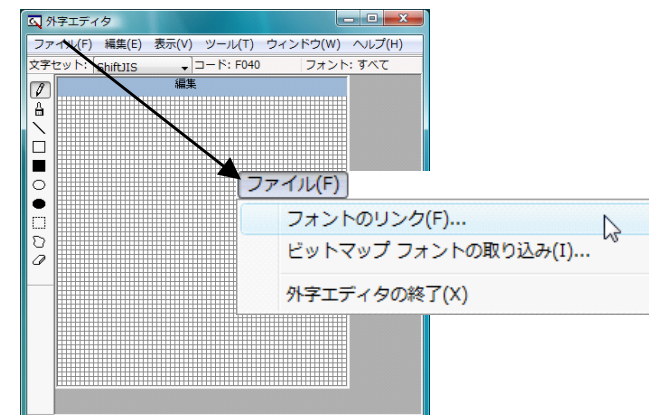
名前に、「eudcedit」と入力して[OK]ボタンをクリックします。実行を確認するメッセージが表示されますので、[続行] ボタンを押してください。

※Windows10 の場合は、[スタートメニュー]-[すべてのアプリ]-[Windows システムツール]-[ファイル名を指定して実行] を選択します。

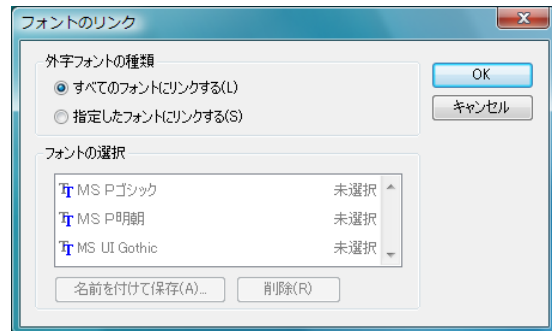
2. 下図のダイアログボックスが開きます。
[OK]ボタンを押してください。



3. 外字エディタのウィンドウが開きます。
ファイルメニューの「フォントのリンク」を選択します。



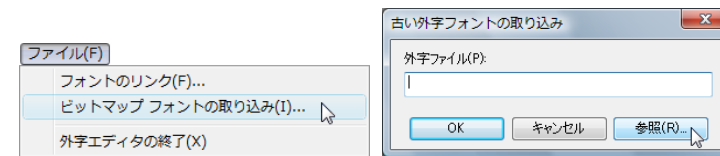
フォントのリンクダイアログボックスが開きますので、ここでは何もせず[OK]ボタンを押してください。



初めて外字エディタを起動した場合は、EDUC(外字)ファイルを作成する必要がありますので、編集メニューの「同じコードで保存」を選択します。



- 次にフォントファイルを取り込みます。ファイルメニューの「ビットマップフォントの取り込み」を選択します。



取り込む外字ファイル名を指定します。ユーザフォント名の部分に何も表示されていないので、[参照]ボタンを押してファイルを指定します。

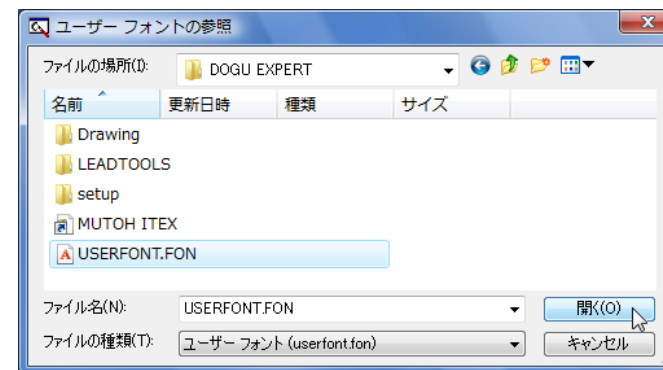
製図道具をインストールしたディレクトリを表示すると次図のようなファイルが表示されます。

デフォルトのインストールでは

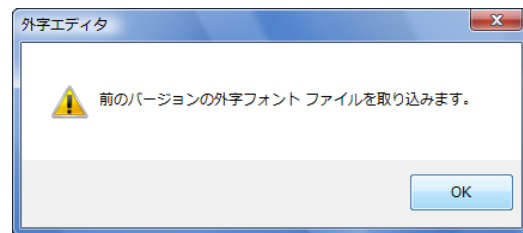
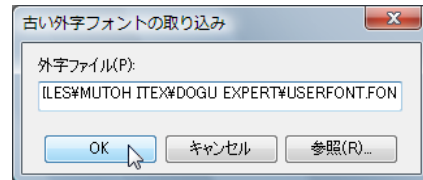
「C:\Program Files\MUTOH ITEX\DOGU EXPERT」

(※64bit 版 Windows の場合は「C:\Program Files(x86)」)

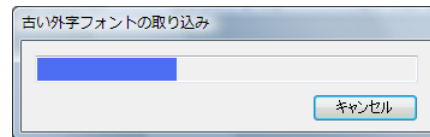
のディレクトリにフォントファイルがあります。ファイル [Userfont.fon] ファイルを指定して[OK]ボタンを押します



前の画面に戻ると、ファイル名が表示されています。[OK]ボタンを押すと、確認のメッセージが表示されます。

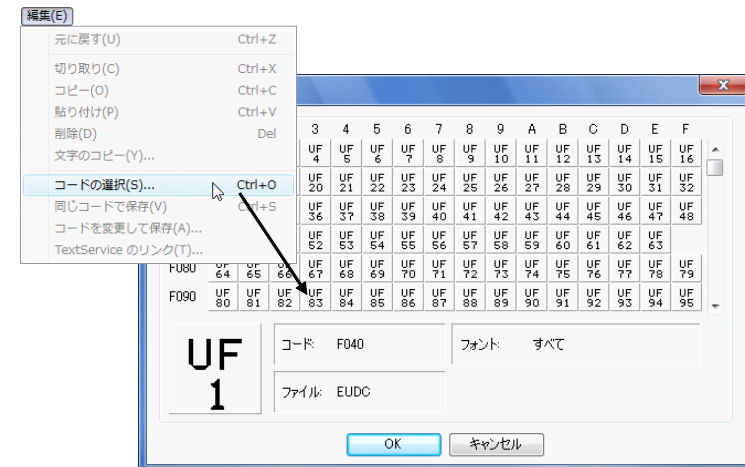


[OK]ボタンを押すと、取込み実行中のメッセージが表示されます。



取込みが終了すると画面が元の画面に戻ります。

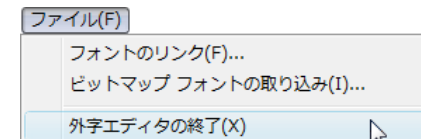
5. 取り込みしたフォントを確認してみましょう。編集メニューの「コードの選択」を選択します。



フォントデータのセットされたダイアログボックスが表示されます。[OK]ボタンで終了します。

6. 外字エディタを終了します。

ファイルコマンドの[外字エディタの終了]を実行するとプログラムが終了します。



外字の登録が完了しました。

1.3 アンインストール

(本章は製図道具 PHOTO EXPERT トレーニングマニュアルの
Section1-3「製図道具のアンインストール」に該当)

製図道具のアンインストール

(製図道具 PHOTO EXPERT トレーニングマニュアルの P13「製
図道具のアンインストール」に該当)

ここでは製図道具プログラムをハードウェアから削除する方法を
説明します。

(※製図道具プログラムをアンインストール後に再インストールさ
れる場合、削除される前に図面ファイル及び環境設定ファイルをバ
ックアップする必要があります。環境設定ファイルのバックアップ
はリファレンスマニュアル P41「[バックアップ]コマンド」並びに
当マニュアルの「2.リファレンスマニュアルの追加・変更部分」を
ご覧ください。)

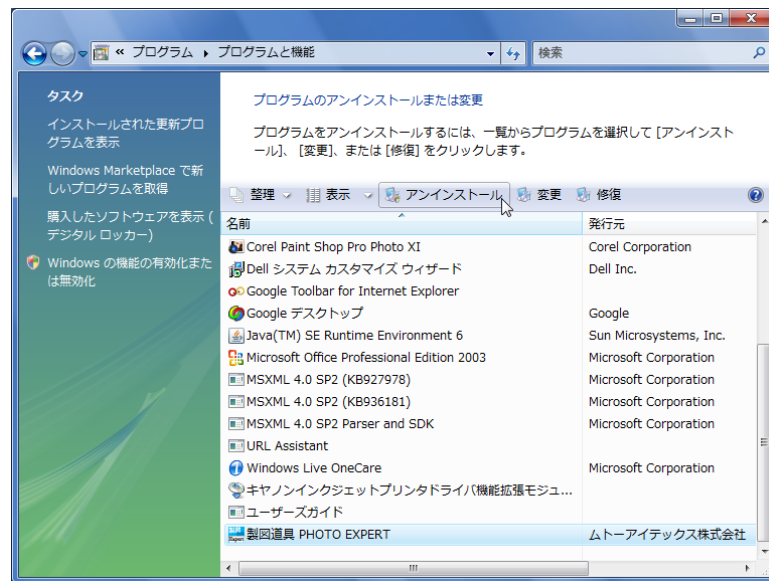
Windows Vista/7/8/8.1 の場合

[スタートメニュー]-[設定]-[コントロールパネル]を選択します。



コントロールパネルの中の「プログラムのアンインストール」をク
リックします。

現在インストールされているプログラムが一覧で表示されていま
す。



その中から「製図道具 PHOTO EXPERT」を選択して、[アンインストール]ボタンを押します。



アンインストールが実行されます。

お客様が製図道具のフォルダに作成された図面データ、部品データ、設定ファイルは削除されることはありません。それらのファイルが存在する場合は、フォルダは削除されず残ります。

作成したデータがない場合、フォルダはすべて削除されます。

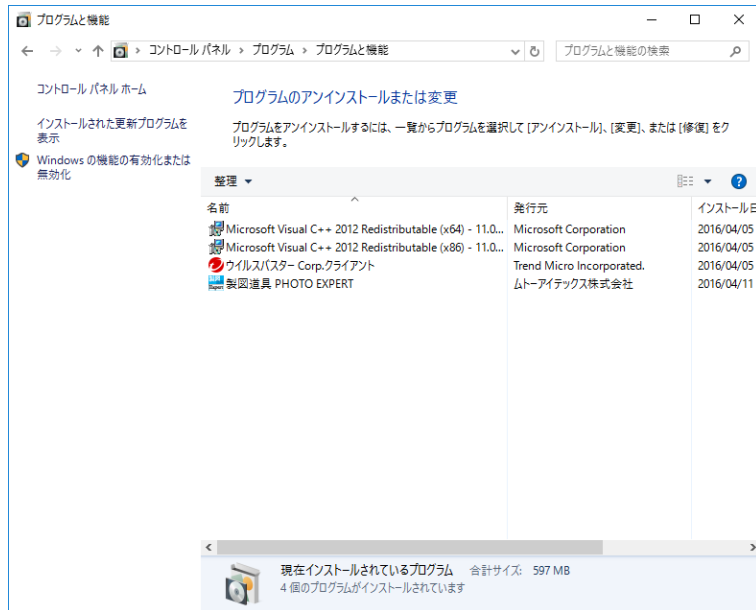
Windows10 の場合

[スタートメニュー]-右クリック-[コントロールパネル]を選択します。

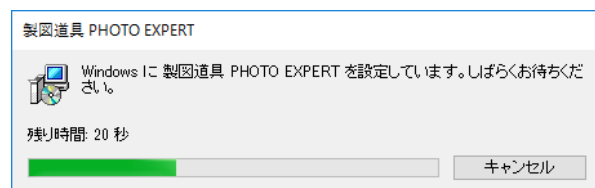
コントロールパネルの中の[プログラムのアンインストール]をクリックします。



現在インストールされているプログラムが一覧で表示されています。



その中から「製図道具 PHOTO EXPERT」を選択して、[アンインストール]ボタンを押します。



アンインストールが実行されます。

お客様が製図道具のフォルダに作成された図面データ、部品データ、設定ファイルは削除されることはありません。それらのファイルが存在する場合は、フォルダは削除されず残ります。

作成したデータがない場合、フォルダはすべて削除されます。

2.リファレンスマニュアルの追加・変更部分

2.1 [バックアップ] コマンド


バックアップファイルの保存先変更

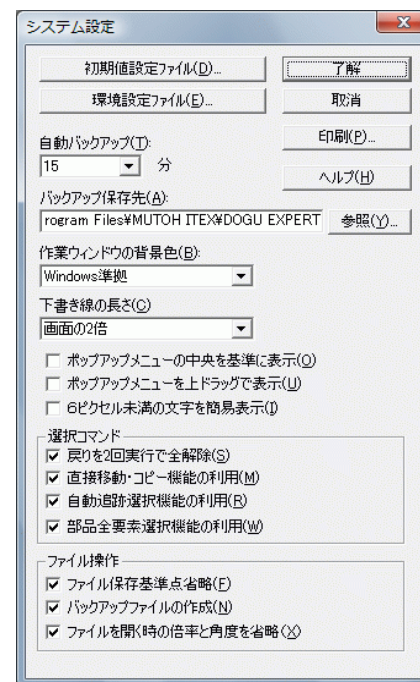
製図道具 PHOTO EXPERT Ver6.3.3 以降のバージョンでは、バックアップコマンドを実行した時に作成されるバックアップファイルの保存先を選択することが可能となりました。

- ※ バックアップコマンドの詳細については、製図道具 PHOTO EXPERT リファレンスマニュアルの P41 「[バックアップ] コマンド」をご参照ください。
- ※ システム設定の詳細については、製図道具 PHOTO EXPERT リファレンスマニュアルの P280 「システム設定」をご参照ください。
- ※ バックアップした設定のリストアについては、製図道具 PHOTO EXPERT リファレンスマニュアルの P42 「[バックアップの復帰] コマンド」をご参照ください。

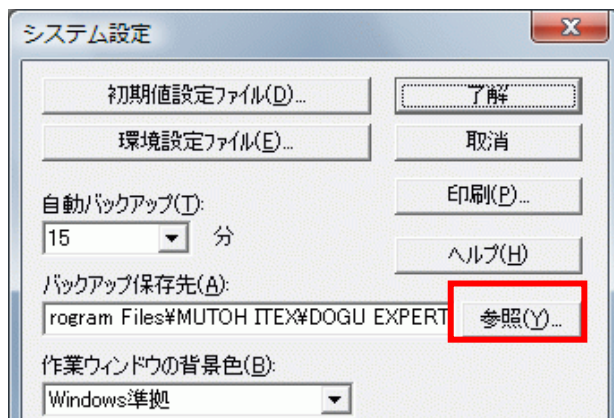
バックアップ保存先の設定手順

バックアップされた図面ファイルの保存が行われる場所は、システム設定の[バックアップ保存先]で指定することができます。

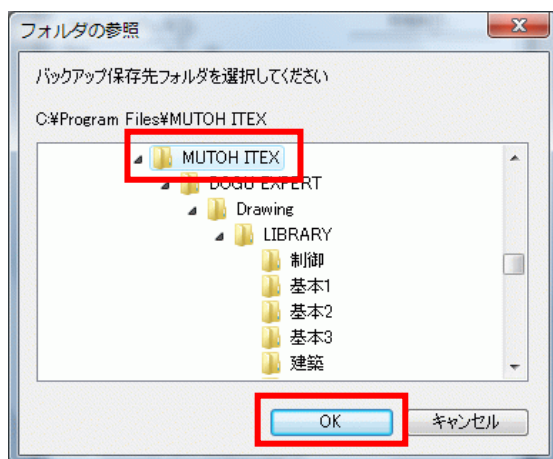
- ① [設定]-[システム設定] または  コマンドを実行し、システム設定画面を表示します。



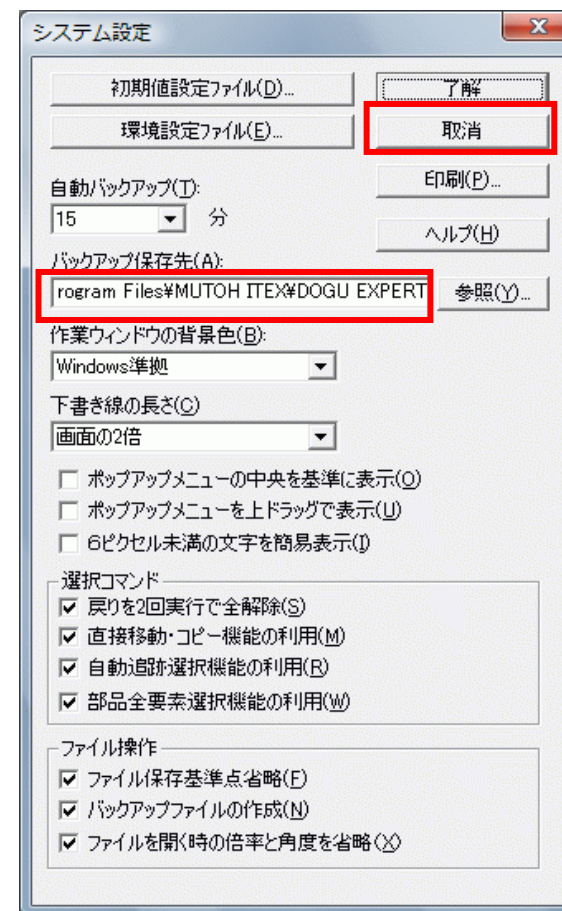
② [参照(Y)...]ボタンをクリックし、フォルダ選択画面を表示します。



③ バックアップされた図面ファイルを保存するフォルダを選択し、[OK]ボタンをクリックします。



④ [バックアップ保存先]に、選択したフォルダ名が表示されていることを確認し、[了解]ボタンをクリックします。



以上で設定は完了です。

※設定バックアップの保存が反映されない場合の 対処法

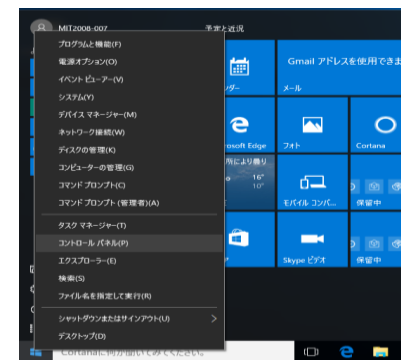
Windows Vista/7/8/8.1/10 でご利用されている場合、設定を保存した後に再起動しても設定が反映されていないことがあります。これは Windows Vista 以降に設定された「書き込みの仮想化 (Virtual Store)」が有効になっていないと設定ファイルが保存されないことが原因です。

「書き込みの仮想化」が無効になっていないかどうかを確認するための手順は以下の通りです。

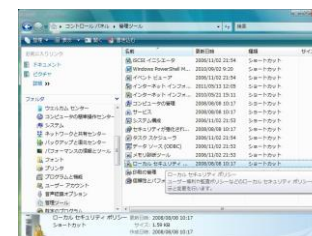
- ① まず、[スタートメニュー] - [コントロールパネル] (Windows8 はスタート画面の[全てのアプリ]-[アプリ]-[コントロールパネル]) をクリックしてコントロールパネルを表示して下さい。



※Windows10 の場合は、[スタートメニュー]- 右クリック-[コントロールパネル]をクリックしてコントロールパネルを表示して下さい。



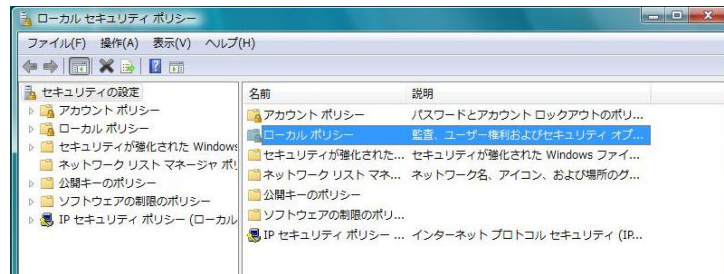
- ② コントロールパネルの[管理ツール]を立ち上げ、表示された項目の中の[ローカルセキュリティポリシー]→[ローカルポリシー]の順で選んで行きます。



管理ツール

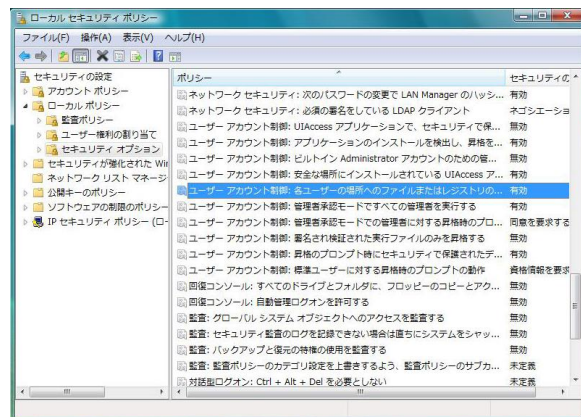
ISCSI イニシエータ	2006/11/02 21:54	ショートカット	2 K
Windows PowerShell M...	2010/09/02 9:20	ショートカット	3 K
イベント ビューア	2006/11/02 21:54	ショートカット	2 K
インターネット インフ...	2011/05/13 12:05	ショートカット	2 K
インターネット インフ...	2010/05/21 15:11	ショートカット	2 K
コンピュータの管理	2008/08/08 10:17	ショートカット	2 K
サービス	2008/08/08 10:17	ショートカット	2 K
システム構成	2006/11/02 21:53	ショートカット	2 K
セキュリティが強化され...	2008/08/08 10:17	ショートカット	2 K
タスク スケジューラ	2006/11/02 21:54	ショートカット	2 K
データソース (ODBC)	2006/11/02 21:53	ショートカット	2 K
メモリ診断ツール	2006/11/02 21:53	ショートカット	2 K
ローカル セキュリティ ...	2008/08/08 10:17	ショートカット	2 K
印刷の管理		ローカル セキュリティ ポリシー	K
信頼性とパフ...		ユーザー権利や監査ポリシーなどのローカル セキュリティ ポリシーの表	K

ローカルセキュリティポリシーの項目



ローカルセキュリティポリシーの「ローカルポリシー」をクリックしてください。

- ③ [ローカルポリシー]→[セキュリティオプション]一覧の中の「ユーザーアカウント制御:各ユーザーの場所へのファイルまたはレジストリの書き込みエラーを仮想化する」の項目が有効か無効かを確認してください。

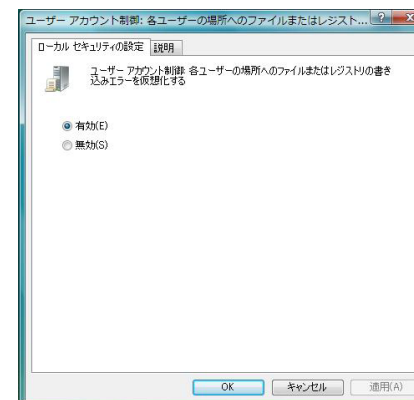


④ セキュリティオプション一覧

ユーザー アカウント制御: ビルトイン Administrator アカウントのための管...	無効
ユーザー アカウント制御: 安全な場所にインストールされている UIAccess ア...	有効
ユーザー アカウント制御: 各ユーザーの場所へのファイルまたはレジストリの...	有効
ユーザー アカウント制御: 管理者承認モードですべての管理者を実行する	有効
ユーザー アカウント制御: 管理者承認モードでの管理者に対する昇格時のプロ...	同意を要求する

「ユーザーアカウント制御:各ユーザーの場所へのファイルまたはレジストリの書き込みエラーを仮想化する」の項目

- ⑤ 「ユーザーアカウント制御:各ユーザーの場所へのファイルまたはレジストリの書き込みエラーを仮想化する」の項目が無効であった場合は有効化します。項目をクリックしてプロパティを表示し、「有効」を選び OK を押します。これで書き込みの仮想化は有効になります。



2.2その他リファレンスマニュアルの追加項目

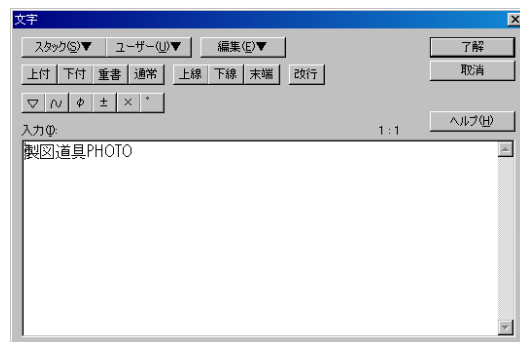
1. 製図道具PHOTO EXPERT リファレンスマニュアル P10
製図道具ウィンドウ切り替え操作のショートカットキー。

(誤)「Ctrl + Esc」 (正)「Alt + Esc」

2. 製図道具PHOTO EXPERT リファレンスマニュアル P82
文字列変更ダイアログボックスには「中止」ボタンが存在しません。

正しくは以下のダイアログで表示されます。

(該当ダイアログ)



3.リファレンス・トレーニング両マニュアルの削除項目

製図道具 PHOTO EXPERT Ver6.3.3 以降のバージョンアップに伴い、削除された項目は以下の通りです。

1.Windows 98 /NT V4.0 /Me のセットアップ起動方法

(製図道具 PHOTO EXPERT トレーニングマニュアルの P3～P4 に該当)

上記に記載されている OS は、Ver6.3.3 以降は、対象外になります。Windows Vista/7/8/8.1/10 のセットアップにつきましては、P1～P7 を参考にして下さい。

2.WindowsNT4.0 の外字設定

(製図道具 PHOTO EXPERT トレーニングマニュアルの P8～P10 に該当)

上記に記載されている OS は、Ver6.3.3 以降は、対象外になります。Windows Vista/7/8/8.1/10 の外字設定につきましては、P8～P11 を参考にして下さい。

3.ヘルプの使い方

(製図道具 PHOTO EXPERT リファレンスマニュアルの P304 に該当)

4. 製図道具 PHOTO EXPERT リファレンスマニュアルの P149 操作手順 2

2 点下書き円の「接物指定」サブスイッチボタンが存在しないため、「このときサブスイッチボタン～できます。」の記述を削除。

5. 製図道具 PHOTO EXPERT リファレンスマニュアルの P167 操作手順 2

2 点円の「接物指定」サブスイッチボタンが存在しないため、「このときサブスイッチボタン～できます。」の記述を削除。